

「向かう先（志）・研修（最新学習歴）・つながり」

支部長 鈴木 正彦

令和6年度 ときわ会の活動の基本方針は、「人材を活かし、主体的に学び合い鍛え合う研修、人と人とを確かにつなぐ組織運営」です。また、阿賀野支部の課題は、「主体的に、語り合い、学び合い、高め合う会員の育成」です。これらを受け、阿賀野支部の活動の重点を、『向かう先（志）・研修（最新学習歴）・つながり』としました。



【向かう先（志）】とは？

私たちは、何をするにも目標（向かう先）が必要です。どこに向かって何をがんばればよいのか分からない中では、今の行動が定まりません。私たちの生きるベクトルは、目標へ向かって上向きに進むようにできています。ときわ会創立150周年を契機とした、ときわ会員としての目標（向かう先）を具体的に再確認し、一步一步確実に歩みを進めましょう。

【研修（最新学習歴）】とは？

一昔前「最終学歴は？」と言われ、それがあたかも、その人の学習能力を測る一つのものさしとされた時代がありました。しかし、環境変化の早い現在、最終学歴の貯金で生き続けるのはほぼ不可能です。いじめ認知件数や不登校児童生徒の増加、保護者の意識の変化、複雑な家庭環境の増加等、新たな課題が次々と出てきます。そんな中での学力の向上。新しいことを学び続け、変化に対応できる人や組織しか生き残れません。

【つながり】とは？

説明するまでもありませんが、人は、「つながり」の中で、活（生）かされています。人から学び、人へ教え、人を導き、そして導かれ、関わりの中で仕事をしています。ぜひ、「つながり」を意識して、多様な人材と積極的に語り合い、一人一人の人間力の向上に努めていきましょう。

ときわ会は、「子どもたちの命と笑顔を守る」ために、常に希望を持ち続け、日々努めている会員を全力で応援します。